



友 愛

全国学力・学習状況調査報告編

鴨池小学校
学校だより
令和元年10月発行

平成31年4月に行われました「平成31年度全国学力・学習状況調査(対象6年)」の結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

この調査は、5年生までの学習内容をもとに、定着度の把握や指導法改善をねらいにしています。児童質問紙は、子どもたちの生活や学習の様子、考え方について調査しています。これらの結果をもとに、今後さらに全学年の子どもたちの学力向上のために学校と家庭が一体となった取組を推進していきたいと思っておりますので、御理解・御協力のほどよろしくお願ひします。

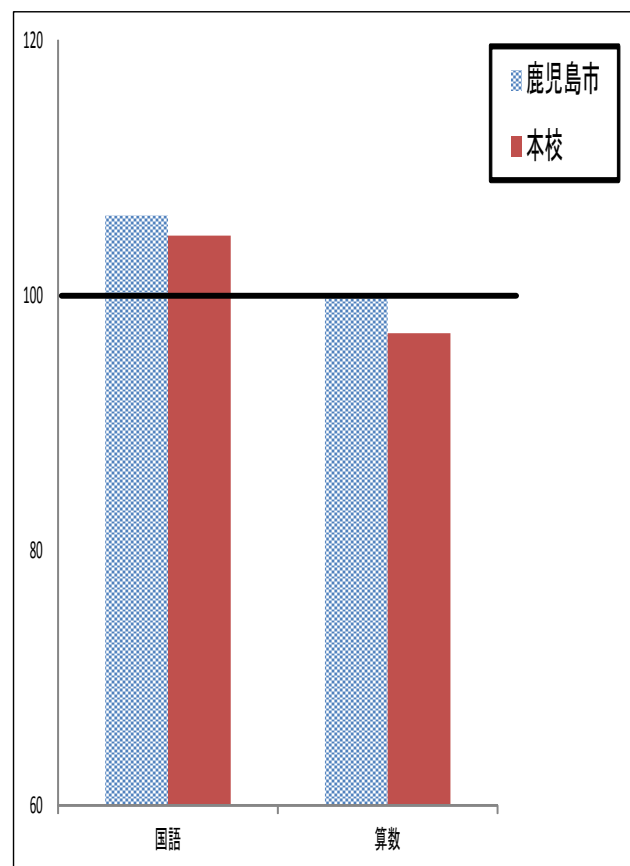
＜教科に関する結果概要＞

本校の調査結果を平均正答率で表すと、右の棒グラフのとおりです。

国語においては全国の平均を上回っていますが、市の平均は下回っています。

算数においては全国及び市の平均を下回る結果となっています。小問ごとに見ていくと理解できているところもたくさんありますが、記述式の問題の正答率が低い状況です。

全国の平均正答率を100としたときの数値



＜国語＞

国語では、読むことについては正答率が高い傾向です。逆に書く力を求められる問題の正答率が低くなっていました。

また、選択する問題でも無解答の問題もいくつかありました。あきらめずに最後までしっかり問題に取り組む姿勢を育てていきます。再指導もちろん、文章表現をする上で筋道を立てて、主述を意識させた表現の機会を学習活動や家庭生活の中でつくっていくことを重点に今後取り組んでいきます。

＜算数＞

算数では、選択する問題については正答率が高くなっていましたが、図形と式を関連づけて考える問題などは苦手とし、正答率が極端に低くなっていました。ただ単に答えを求めるだけでなく、求め方について話し合ったり、自分の考えを伝えたりする活動などを通して、自分の考えを筋道立てて表現できる力をつけていきます。

＜全体的に＞

記述式の問題に対して自分の考えを明確にして書くことが正答率が低い傾向でした。授業の中で、自分の考え、理由、事実等を分けて文章を書く活動を取り入れていきます。また、基礎的基本的な力を身につけるため反復練習を積み重ねていきます。